

保育所における自己点検・自己評価

若久青い鳥保育園 令和7年度

※今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせる方向で記入して下さい。

〔記入方法〕

- ・A、B、C、Dの4段階評価です。該当する欄に○を付けてください。
- ・項目ごとに、意見・改善策を記述して下さい。

A：たいへんよい

B：よい

C：一部検討を要する項目

D：改善を要する

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項 目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1)保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○			○保育目標である「豊かな心を育む保育」を目指し、保育指針である「10の姿」を基本に、日々の保育に活かす事ができた。
	(2)目標は各施設や地域の特色を生かしているか。		○			
	(3)目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4)目標は前年度の反省を生かしているか。		○			
	(5)目標は全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育について	(1)指導計画は乳児の実態に即して作成しているか。	○				○保育過程に基づき、保育環境（人的・自然）を意識し、年間・月間計画を立てている。 ○素材・材料・用具を年齢に合わせて活用し、成果を共に喜び、反省点はその都度次回につなげるよう行っている。
	(2)保育所保育方針に基づく援助、支援を適切に行っているか。	○				
	(3)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4)素材・用具を適切に活用しているか。	○				
	(5)評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	○				
日時程	(1)1日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。	○				○0歳児から5歳児までに連続性を考えて各クラス成長段階に応じて行っている。
行事について	(1)行事の種類や実施回数は適切か。	○				○行事については、年長組の7月に行われるサマーフェスタを猛暑の為取りやめ、今年からキザニア福岡へお仕事体験として園児と職員で行くことになったが、園児たちは意欲的に様々な職種について学び体験することができた。
	(2)行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	(3)乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4)計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(5)保護者の願いや意見を取り入れているか。	○				

項 目		内 容	評 価				意見・改善策
			A	B	C	D	
情報について		(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				○今年度から「さくらメール」から「コドモン」のアプリを導入し、園児の登降園の管理や、連絡ノート、園だより等の情報を共有した。また、個人情報に厳守で取り扱っている。
		(2)公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○				
		(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○				
施設・設備		(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				○安全点検は毎週毎月行っている。 掲示板の利用、不審者対応には十分配慮している。 ○1歳児クラスのエアコンが故障し、7月に新しくエアコン設置工事を行った。 ○業者による消防点検を年2回行っている。
		(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○			
		(3)不審者に対応する周到な配慮を行っているか。	○				
		(4)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納・経理		(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				○コンサルタントと連携して処理を行っている。
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1)他施設等の年間交流計画は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○			○就学前の情報交換は小学校へ引継ぎ・情報を提供した。 ○卒園生を保育園に招き、卒園アルバムを渡し、子ども達一人ひとり近況報告を行い、小学校生活等、情報共有する事ができた。
		(2)他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
		(3)指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対しての理解を深め、援助について共通理解を図っているか。			○		
		(4)参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。				○	
		(5)日常的に、情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○			
	家庭・地域社会との連携	(1)参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○			○保護者による保育士体験を9月から10月の2か月間行っている。クラスの様子や雰囲気、職員の対応などを実際に見て感じる事ができ、給食も一緒に食べていただいている。この体験を通して、保育園への理解や関心を深め、職員は保育の資質向上につながることができている。
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○		
		(3)(乳) 幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。				○	
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項 目		内 容	評 価				意見・改善策
			A	B	C	D	
経営・組織	分掌・体制	(1)能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			職員の退職者は2名だが、職員配置は足りている。
		(2)職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3)職員の配置は適材・適所か。		○			
		(4)係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
	運営	(1)各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			○会議は常に行い、職員からの積極的に前向きな提案や発言などが増え、相互理解が深まり、協力体制が整った。
		(2)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○				
		(3)打合せ回数、時間、内容は適切か。	○				
	年齢別・クラス経営	(1)年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				○年間、月間のクラス目標を立てて、それに基づき、月案・日案を立て、連続性のある保育を行っている。職員間で意識を持ち、チームワークを大切にし、言葉で伝える習慣を身に付け、特に、隣接同士のクラス担任がお互いのクラスを把握し、チーム保育に取り組んでいる。日誌をはじめ書類も滞ることなく集積している。
		(2)年齢別、クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
		(3)年齢別、クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○				
		(4)同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
		(5)意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○			
		(6)評価、資料（諸記録）を集積しているか。	○				
	保健・全指導	(1)年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○				○安全確保のために安全点検を行い、職員会議の度にヒヤリ・ハットの報告を行い、職員間に常に意識を持つように対策を講じ会議を行った。
		(2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
		(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				
		(4)乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○				
研究・研修	所内研究・研修	(1)研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	○				○キャリアアップ・保育士会研修に参加して、スキルを磨き、保育に活かせるように取り組んでいる。県内で不適切保育による虐待行為が保育所で行われた事件に関する研修を全職員がオンラインで受け、全国保育士会の不適切防止チェック表を基に、一人ひとり振り返りを行っている。
		(2)所内研修の計画・運営は適切か。	○				
		(3)研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	○				
		(4)研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。	○				
	所外研究・研修	(1)各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○				○研修会参加後、職員間に於いて話し合う機会を持っている。
		(2)各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○			

項 目		内 容	評 価				意見・改善策
			A	B	C	D	
開かれた保育所づくり	子育て支援の推進	(1)地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。				○	○園庭・中庭・保育室は開放していない。子育て相談は、パンジー巡回相談の実施や、「気になる子ども」への声かけ・面談を重ねた。荻田町で発足した「発達相談」も年2回行い、職員に対して園児への細かな配慮などを指導していただくことができた。
		(2)地域に住む子どもどうし、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。				○	
		(3)「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。				○	
		(4)職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	○				
		(5)医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
	情報の発信	(1)保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				○保育通信（クラスだより）やホームページ・コードモンアプリで情報を配信している。
		(2)行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	○				
	外部評価	(1)第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。			○		○地域や保護者の意見を真摯に受け止め改善を行っている。
		(2)地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			

苦情・不満・意見・要望に関する報告書

R,8年3月31日

社会福祉法人荻田事業協会

若久青い鳥保育園園長 岡村 斉

令和7年度 苦情・不満・意見・要望 無し。